

第4回角間川流域協議会 議事要旨

日時：平成16年8月26日（木） 19:00～21:00

場所：北信合同庁舎 講堂、出席者：会員33名中27名出席

- | | |
|-----------------|---------|
| 1 開会 | 事務局 |
| 2 挨拶 | 市川座長 |
| 3 会員の自己紹介 | 1名 |
| 4 第3回議事要旨の説明 | 中野建設事務所 |
| 5 議事 | |
| （1）治水利水対策について | |
| 利水対策の検討状況について | 北信保健所 |
| 治水対策について | 中野建設事務所 |
| （2）構成員の質問事項について | |
| （3）その他 | |
| 6 閉会 | 事務局 |

構成員から出された主な意見

1 災害について

- ・ どれだけ夜間瀬川の堤防の強化されたのか。堤防の強化が半分なのか、崩れた部分だけか、全体を強化したのか。具体的に説明してほしい。昭和33年と今のものだけでなく、過去の災害もの、経緯について全部説明してほしい。
- ・ 山の水を守るためにも、水害の防止のためにも、志賀高原の角間川と横湯川の森林の状況を調べるべき。角間川、横湯川流域の人工林と自然林の分布はどうか、伐採後の植林したのか。
- ・ 自動間伐器を利用できる施策があると聴いているが間伐をするための補助金はどうなっているのか。志賀高原の森林、県の林業対策はどうなっているのか。
- ・ 日本のスキー場は森林を伐採してできている。スキー場によっては、よい工夫をしている所もある。保水力に対してどのような対応をしているか調べてほしい。「緑のダム」について、地味だが取り組んでいくべき。
- ・ 穂波温泉の水害の原因について穂波温泉の用水の取入口を土石流で破壊されそれによって護岸堤防の積石が次々と流出して堤防が切れた。
- ・ 角間川の上流の志賀高原は99%が人工林。ダムの上流に、市や町などの生産者を共有する形にして河川から一定の川幅20～30mを広葉樹にして保水力を持たせて土砂流出を防止したらどうか。

2 落合の地すべり及び落合の砂防えん堤について

- ・引き続き落合の地すべり工事は実施してほしい。
- ・落合2号えん堤はできているが、県は落合1号えん堤を2003年までにできると言っていた。次回で結構ですが経過を説明してほしい。

3 河床掘削及び源泉について

- ・角間部会でも掘削の影響調査はしていなかった。ぜひ掘削の影響調査をしてもらいたい。その後の経過も含めて要望だけで今後の課題として明確化されていない。
- ・温泉の湯圧は、水に比べて非常に弱いもので一度失うと復古することができないことが多い。

4 パラペットについて

- ・景観や環境は山ノ内町の生命線である。専門家だけでなく、地元の声聞くのが重要。県の言うままなら、委員会はいらない。日本一、世界一のパラペットといわれるようなものにしないといけない。
- ・河川改修は、河床掘削方式は、やめてパラペット方式にしてほしい。
- ・治水について、パラペット案は素人をごまかす案だと思う。既設の床止工の所が何cmか不足する。床止工がこんな形で配置されているので、河川改修の在り方にこそ問題があると思う。

5 治水対策全般

- ・ダム代替案ということであれば、災害が起きてからの対応策ではなく、ダムに代わるべき未然に防止する方策が重要である。起きる前の防止策として代替案があるのか。

6 利水対策について

- ・併行して利水の具体案を出してほしいと言った。利水が大事と考えている。どのように考えているのか。
- ・ダムがなければ不特定用水が具体的にどここの部分にあるのか。仮に水源があったとすればそれだけの水質、水量の可能性はあるのかどうか。
- ・ダムの建設が解決策として県の土木部長等が立ち合いとなって、進めてきた八ヶ郷の部分はどう明確化していくのか。
- ・新たな水道水源の確保だけが重要な問題ではない。水利権、不特定水量確保など、利水対策の全体を示していない。不特定用水はいかように確保するのか。
- ・今年の夏の湯水期に取水した水量が、どれくらいだったか八ヶ郷さんに現状を説明してほしい。
- ・8月の湯水期の状態を見ていると、現実な問題として夜間瀬川取水口からの水を全部取水しても不足した。上下流の人で日や時間を分けて水利用の調整して今年は行った。
- ・湯水期に夜間瀬川の水を安定して上流から下流へ必要量が流れるようにすべき。不特定用水を確保するには、井戸水対応だけではなかなか難しいのではないかと。
- ・ダムを使った場合、慣行水利権から許可水利権になる。その時、各組合の承諾書が必要になる。角間川が許可水利権になるのはわかるが、横湯川、伊沢川、夜間瀬川全体がなぜ許可水利権となるのか説明してほしい。
- ・県の補助は資料の記載どおりあるのか。市は今まで地下水源の調査もしていると思うが、この調査でどういう期待、見通しを持っているのか説明してほしい。2地区を選定してきたが、今までの経験からどの程度のことが予測できるか説明してほしい。
- ・雨水利用の問題、節水の問題とかについて項目があり、県が支援していくという話が答申の中身であるが、雨水利用を県の補助を受けながら、市町のところで具体化したらどうか。

(県の説明)

市から7/28付けで補助金の申請があり 8/2に県が交付決定した。500万円は確定した数字。

- ・高社山トンネルから50,000 t / 分の水が出るので、田上地区からその使い方を考えてほしいという意見を聞いた。利用する方法を考えてはどうか。
- ・市長から不特定用水の話があったが、昭和59年協定で、希釈水を含めることとなっていた。
- ・角間ダム建設が中止になった今、利水についての議論する必要はない。出来ない物を議論しても始まらない。中野市、山ノ内町もお互いに節水に心がけるべき。
- ・利水の関係は、水源水量が井戸で水源が足りなかった場合、どう考えているのか、県に聞きたい。

(県の説明)

井戸で不足するという想定はしていないが、不足するとわかった時点で、答申案のプログラムに沿ってステップアップしていきたい。市町と調整をしながら進めていく。現時点では、白紙の状態である。

- ・県の補助金は、新規水源のためなのか、角間川部会の提言によるのか、どっちなのかはっきりしてほしい。
- ・現状の水需要は、市、町は水源が足りているのか、町は明記されているが、市は明記されていない。県と市は将来の水需要計画は妥当としている。どの地点にたてた水需要計画なのか町は明確にしているのに、市は明確にしていない。なぜか。説明してほしい。
- ・鉄建公団のトンネル内の湧水を使うこと先ほど他の会員からも提案があり、検討委員会で提案があったが、市及び県では川をまたぐので膨大な費用がかかると言っていた。なぜ宇木地区が対象になるのか。費用負担についてどの程度検討されているのか教えてほしい。
- ・先日の信毎の記事に中京の水源の牧尾ダムでは、取水率が45%に直面している。県下における利水ダムが取水量、取水率がどうなっているか答えてほしい。
- ・利水案について、広域的な調査、精度の高い水源調査を行うことあるが、今年度の調査、栗和田・宇木地区の調査の結果が思わしくなければ、更に広域的に調査をしていくのか。
- ・表流水について調査は、どう考えているのか説明してほしい。

(市の説明)

地下水の調査については、放射能探査、電気探査で地下水脈を確定し水源が見込まれる地点に削井工を実施する。その中で量と水質が悪ければ、過去に調査でヒ素とか出る井戸が多分にあり 現実的には、これ以上の調査は考えていない。また過去のデータを踏まえて判断できる。

表流水は、現在は夜間瀬川から取水が得られているが、少なくとも水利権の問題がある。既存のデータで十分把握できる。